

岩手県ひとり親世帯等実態調査

(1) 調査目的

県内の母子世帯、父子世帯、養育者世帯及び寡婦世帯の生活の実態を把握し、これら母子世帯等に対する福祉施策の充実を図るための基礎資料を得ることを目的とする。

(2) 調査概要

時期	令和5年12月1日～令和5年12月20日 ※令和5年8月1日現在の状況				
方法	基礎調査(市町村調査)の結果をもとに、調査対象世帯2,000世帯(母子・父子・養育者・寡婦)を市町村に割り振り調査				
対象者	母子世帯、父子世帯、養育者世帯及び寡婦世帯(以下「母子世帯等」という。)				
対象者数、 回答率	区分	基礎調査世帯数	調査対象世帯数	回答世帯数	回収率
	母子世帯	8,992	1,057	451	42.7%
	父子世帯	828	97	47	48.5%
	養育者世帯	46	6	4	66.7%
	寡婦世帯	7,142	840	361	43.0%
	合計	17,008	2,000	863	43.2%

令和5年度岩手県ひとり親世帯等 実態調査報告書のポイントについて

- 県内における母子世帯は8,992世帯、父子世帯は828世帯、寡婦世帯は7,142世帯となっており、前回調査(※)と比較して母子世帯は19.1%減、父子世帯は26.3%減、寡婦世帯は40.5%増となっている。
- 就労の状況について、前回調査と比較して、母子世帯・父子世帯ともに「パート・アルバイト等」の割合が減少し、「正規の職員・従業員」の割合が増加している。
- 就労収入について、前回調査と比較して、母子世帯・父子世帯ともに「15万円未満」(5万円未満、5～10万円未満、10～15万円未満)の割合が減少、「15～20万円未満」の割合が増加している。

※ 前回調査:平成30年度